

編集後記

「夢の日々」は今回が最終回です。

大和先生の充実した日々が、子どもと共に十分に何かを探究することから生まれたこと、それは子どもの数が二人であるとか多人数であるとかにかかわらず、一人一人が探究する人であることで、もたらされ得ることを知ってうれしく思いました。

*

この記事を読んでいたときに、『音楽療法』（河合眞著、南山堂）という本を手に入りました。老人病院でのこの実践は、医療という枠組みの中に、一精神科医である河合氏自らヴァイオリンを持ち込んで試行錯誤しながら、氏の考える「音楽療法」

が形をなしていく過程です。この中で、打楽器を中心とした老人オーケストラもできました。

氏は、障害を持ったお年寄りがそのために日常生活動作がままならなくとも、「生命または生活の質」が高まることを求めています。

この実践のきっかけは《遊び心》にあった、とあります。読んでいると、先んじて「弾く人」となった氏の姿が、治療チームのスタッフ・地域性を考えた打楽器のオリジナル曲を作った作曲家などの他領域の専門家・当のお年寄りなどの《遊び心》を次々にゆさぶり、多くの人たちを巻き込んでいった過程が浮かび上がってきます。

ここにも、探究することで充実した日々を送った人たちがいる、と思えました。

(A)

幼児の教育

第九十七巻 第七号

(一九九八年七月号)

定価五五〇円(本体五二四円)

発行 平成十年七月一日

編集兼発行人 田代和美

発行所 日本幼稚園協会

〒112-18610 東京都文京区大塚二丁目一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

印刷所 図書印刷株式会社

〒108-18620 東京都港区三田五丁目二丁目

発売所 フレーベル館

〒113-18611 東京都文京区本駒込

六一四一九

☎〇三―五三九五―六六一三(営業)

☎〇三―五三九五―六六〇四(編集)

振替 〇〇―一九〇―二一九六四〇

☆

本誌ご購入のご注文は発売所フレーベル館にお願いします。

☆ 万一、乱丁・落丁などがございましたら、おとりかえいたします。